

## 新規採用・削除医薬品等通知

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	ロソゼット配合錠 HD
(英名)	Ezetimibe/Rosuvastatin Calcium
(規格・含有量)	1錠中エゼチミブ 10mg/ロスバスタチンカルシウム 5.2mg(ロスバスタチンとして 5mg)
(一般名)	エゼチミブ/ロスバスタチンカルシウム
(メーカー名)	MSD
【薬価収載日】	2019年5月
【薬価】	177.00円
【薬効コード】	872189
【薬効分類名】	小腸コレステロールトランスポーター阻害剤/HMG-CoA還元酵素阻害剤
効能・効果	高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症
用法・用量	通常、成人には1日1回1錠(エゼチミブ/ロスバスタチンとして10mg/5mg)を食後に経口投与する。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.重篤な肝機能障害のある患者及び肝機能が低下していると考えられる以下のような患者 急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸(これらの患者では、ロスバスタチンの血中濃度が上昇するおそれがある。また、ロスバスタチンは主に肝臓に分布して作用するので、肝障害を悪化させるおそれがある。 3.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦 4.シクロスポリンを投与中の患者
相互作用	<b>横紋筋融解症頻度増加</b> フィブラート系薬剤:ベザフィブラート等、ニコチン酸、アゾール系抗真菌薬:イトラコナゾール等、マクロライド系抗生物質:エリスロマイシン等 <b>INRの上昇</b> クマリン系抗凝血剤:ワルファリン等 <b>ロスバスタチンの血中濃度低下</b> 制酸剤:水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム <b>ロスバスタチンの血中濃度が上昇</b> 制酸剤ロピナビル・リトナビル、アタザナビル/リトナビル、ダルナビル/リトナビル、グレカプレビル・ピブレンタスビル、シメプレビル、ダクラタスビル、アスナプレビル、ダクラタスビル・アスナプレビル・ペクラブビル、レゴラフェニブ、グラゾプレビル/エルバスビル、エルトロンボパグ <b>エゼチミブの血中濃度の低下</b> 陰イオン交換樹脂:コレステチミド、コレステラミン等
副作用	<b>重大な副作用</b> 過敏症、多形紅斑、横紋筋融解症、ミオパチー、免疫介在性壊死性ミオパチー、肝炎、肝機能障害、黄疸、血小板減少、間質性肺炎、末梢神経障害

## 後発医薬品採用通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
<p>●<u>9月3日より</u></p> <p>トリアゾラム錠 0.25mg「日医工」</p> <p>プロチゾラム錠 0.25mg「ヨシトミ」</p> <p>ロサルタンカリウム錠 25mg「DK」</p>	<p>ハルシオン錠 0.25mg</p> <p>レンドルミン D 錠 0.25mg</p> <p>ニューロタン錠 25mg</p>

## 販売中止に伴う医薬品変更通知

変更後	変更前
<p>●<u>9月3日より</u></p> <p>ブロムペリドール細粒 1%「アメル」</p> <p>ブロムペリドール錠 3mg「アメル」</p>	<p>インプロメン細粒 1%(販売中止)</p> <p>インプロメン錠 3mg(販売中止)</p>

## 適応追加通知

<p>テセントリク点滴静注 1200mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>○<b>進展型小細胞肺癌</b></p> <p>【用法・用量】</p> <p><b>進展型小細胞肺癌患者の場合</b></p> <p>カルボプラチン及びエトポシドとの併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ（遺伝子組換え）として1回 1200mgを60分かけて3週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。</p>
<p>ベニロンーI 静注用 500mg</p> <p>献血ベニロンーI 静注用 2500mg</p> <p>献血ベニロンーI 静注用 5000mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>1～6. 省略</p> <p>7.<b>慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善</b></p> <p>【用法・用量】</p> <p>1～6.省略</p> <p>7.<b>慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善</b></p> <p>通常、1日にスルホ化人免疫グロブリンG400mg(8mL)/kg 体重を5日間連日点滴静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。</p>
<p>マヴィレット配合錠</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>○型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善</p> <p>【用法・用量】</p> <p>○セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のC型慢性肝炎の場合</p> <p>通常、成人及び<b>12歳以上の小児</b>には1回3錠(グレカプレビルとして300mg及びピブレンタスビルとして120mg)を1日1回、食後に経口投与する。投与期間は8週間とする。なお、C型慢性肝炎に対する前治療歴に応じて投与期間は12週間とすることができる。</p> <p>○セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のC型代償性肝硬変の場合</p> <p>○セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のいずれにも該当しないC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変の場合</p> <p>通常、成人及び<b>12歳以上の小児</b>には1回3錠(グレカプレビルとして300mg及びピブレンタスビルとして120mg)を1日1回、食後に経口投与する。投与期間は12週間とする</p>